

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数は669件(前月比1.0、前年同月比0.6)でした。本年の1月をピークに連続して減少しています。宇城、菊池、山鹿からの報告が多いようです。9割近くはインフルエンザBで、例年の季節性インフルエンザ発生状況と同様に、収束しつつあるものと推測されます。

小児科定点

(全体傾向) 報告数は4,989件(前月比1.2、前年同月比1.0)と前月に比しやや増加傾向です。手足口病(前月比2.5)、感染性胃腸炎(前月比1.1)、突発性発疹(前月比1.7)が増加傾向にあります。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 58件(前月比0.5、前年同月比4.1)と収束しています。昨年10月をピークに減少傾向ですが、例年より若干多めです。
2. 咽頭結膜熱: 97件(前月比2.2、前年同月比1.5)で、例年とあまり傾向は変わりません。
3. A群溶連菌咽頭炎: 269件(前月比0.9、前年同月比0.7)で、例年と比較し減少傾向にあります。人吉(11.7)、菊池(10.2)からの報告が多いです。
4. 感染性胃腸炎: 2,544件(前月比1.1、前年同月比1.0)で、本年2月に一旦減少しましたが、再び増加傾向にあります。菊池(105.2)、有明(92.6)、山鹿(91.5)、八代(70.3)からの報告が多いです。1才にピークがあります。
5. 水痘: 147件(前月比1.1、前年同月比0.6)で、年々低下傾向にあります。1~3才にピークがあります。昨年10月に水痘ワクチンが定期となり、今後の動向が注目されます。
6. 手足口病: 568件(前月比2.5、前年同月比1.4)で、増加傾向にあります。宇城(26.3)、八代(24.0)からの報告が多いです。
7. 伝染性紅斑: 36件(前月比2.8、前年同月比3.6)で、やや増加傾向にあります。
8. 突発性発疹症: 223件(前月比1.7、前年同月比1.4)でした。この3年間、通年性に発症の報告がありますが、やや夏に多い傾向があります。
9. 百日咳: 3件(前月比0.6、前年同月比1.0)で、2件は10歳以上でした。
10. ヘルパンギーナ: 68件(前月比2.3、前年同月比0.5)で、やや増加傾向にあります。例年夏場にピークを迎えますので今後にご注意です。1才にピークがあります。
11. 流行性耳下腺炎: 89件(前月比0.9、前年同月比8.1)で、H23年よりずっと減少傾向にありましたが前年より増加傾向に転じています。人吉(24.3)での報告が多いです。全国的に4-5年ごとに大きな流行を繰り返しており、注意が必要です。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数 53 件(前月比 1.0、前年同月 0.9)とほとんど増減はありません。地域別では熊本 46 件、菊池 7 件の報告です。年齢別では 20～59 歳で全体の約 70%を占めており、乳幼児ではごく少数の発生です。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症: 報告数68件(前月比1.3、前年同月比1.7)で、前月比14件増加し、前年同月比27件増加しています。男女別は、男性20件、女性48件と女性に多く見られています。年齢別は、女性は15～29歳に38件と多く、男性では25～29歳に7件と多く見られています。地区別は、熊本が41件と多く、次いで八代11件、御船6件、有明4件、菊池3件、宇城2件、人吉1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数13件(前月比1.1、前年同月比0.6)で前月比1件増加し、前年同月比10件減少しています。男女別は、男性6件、女性7件でした。年齢別は、女性は20～39歳の比較的若い層に多く、男性は55～64歳の高年齢層に多く見られています。地区別は、熊本が11件と多く、御船・有明1件でした。
3. 尖圭コンジローマ : 報告数4件(前月比2.0、前年同月比0.7)で、前月比2件増加、前年同月比は2件減少しています。男女別は、男性1件、女性3件でした。年齢別は、20代から30代前半の女性で3件でした。地区別は、熊本・菊池・御船・八代で各1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数20件(前月比0.9、前年同月比1.5)で、前月比2件減少、前年同月比7件増加しています。男女別は、男性に17件と多く見られています。年齢別は、男性は15～54歳の幅広い層に見られ、女性は20～24歳に2件、40～44歳に1件でした。地区別は、熊本18件と圧倒的に多く、次いで宇城2件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症: 報告数 18 件(前月比 1.2、前年同月比 0.6)でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症: 報告数 5 件(前月比 0.6、前年同月比 0.7)でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症: 報告数 0 件(前月、前年同月と比較して増減なし)でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎: 報告数 0 件(前月より-2 件、前年同月より-1 件)でした。
2. 無菌性髄膜炎: 報告数 2 件(前月比 1.0、前年同月比 2.0)でした。
3. マイコプラズマ肺炎: 報告数 6 件(前月より+6 件、前年同月比 1.5)でした。
4. クラミジア肺炎: 報告数 0 件(前月、前年同月と比較して増減なし)でした。
5. 感染性胃腸炎: 報告数 29 件(前月比 0.9、前年同月比 1.0)でした。
(ロタウイルス)

届け出対象感染症

- 1類感染症: 報告はありませんでした。
- 2類感染症: 結核 : 25件
- 3類感染症: 細菌性赤痢 : 1件
腸管出血性大腸菌感染症 : 1件
- 4類感染症: レジオネラ症 : 2件
E型肝炎 : 1件
A型肝炎 : 1件
- 5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症 : 2件
侵襲性肺炎球菌感染症 : 5件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 : 1件
梅毒 : 1件